

令和 7 年度 第 2 回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和 7 年度 第 2 回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】 令和 7 年度市政モニター44 人（公募 7 人・団体推薦 37 人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する 18 歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】 令和 7 年 8 月 22 日（金）～9 月 5 日（金）
- 【実施方法】 アンケートフォームによる（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】 1. 市のウェルビーイングについて（問 1～問 12）
2. 第 2 期渋川市過疎地域持続的発展計画の策定について（問 13～問 16）
- 【回答状況】 アンケート調査回答者：31 人（20 歳代～80 歳代）
回答率：70.5%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- （1）居住地 渋川地区（14 人）、伊香保地区（4 人）、小野上地区（1 人）、
子持地区（3 人）、赤城地区（7 人）、北橘地区（2 人）
- （2）年 齢 20 歳代（3 人）、30 歳代（5 人）、40 歳代（5 人）、
50 歳代（6 人）、60 歳代（6 人）、70 歳代（5 人）、
80 歳代（1 人）

渋川市

（広報室）

令和7年度 第2回
渋川市市政モニターアンケート

1. 市のウェルビーイングについて

国の第4期教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）では、日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上がコンセプトの一つとなっています。渋川市でもこうした考えを踏まえ、市民一人ひとりが幸せや生きがいを実感できる社会を目指して、渋川市教育振興基本計画の策定を進める予定です。

このアンケートは、渋川市の未来の教育をともに考える「共創」の大切な第一歩です。現状や目指したい未来、必要な取組についてお答えください。

【用語解説】～ウェルビーイング～

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態であることを意味します。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福も含まれます。

例えば、「自分で考えて行動し、まわりを良くしようとする気持ちと力」は、ウェルビーイングの大切な要素の一つです。さまざまな要素が関わり、多様な価値観が尊重され、誰もが自分らしく生きられる社会の在り方を考えるとき、ウェルビーイングは重要な視点となります。

問1 いま、こころも体も、そしてまわりとの関係も良い状態だと感じていますか。5段階で当てはまるものを1つ選んでください。

- ①良い（8人・25.8%）
- ②やや良い（11人・35.5%）
- ③ふつう（8人・25.8%）
- ④やや良くない（2人・6.5%）
- ⑤良くない（2人・6.5%）

年齢別回答状況							単位:人
〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(3)	1	1	1				3
30歳代(5)	1	2	2				5
40歳代(5)		1	1	1	2		5
50歳代(6)	2	3	1				6
60歳代(6)	3	2		1			6
70歳代(5)	1	1	3				5
80歳代(1)		1					1
合計(31)	8	11	8	2	2	0	31

※「①良い」、「②やや良い」と答えた人が全体の6割を占め、心身や人間関係を肯定的に捉えている人が多い。一方で「③やや良くない」、「④良くない」が13%あり、不調や不安を抱える層も一定数存在した

問2 上記で回答した内容に具体的な理由があれば教えてください。

＜簡易抜粋＞

①「良い」と回答した人

- ・親や子ども夫婦との良好な関係や会社での仕事を取り巻く環境等が順調
- ・自分も家族も健康で仕事も順調でとても良い状況です
- ・心身とも健康で、適当なタイミングに各種活動に参加し知人、友人など良い関係を維持している
- ・60代となり、仕事やプライベートでいろいろなことを経験し、多面的に見られるようになり充実した時間を過ごしている

②「やや良い」と回答した人

- ・悪くもないし、すごく良いかと言ったらそこまででもないから
- ・子どもが2人おり、金銭的な面で将来への不安が少しあるため
- ・毎日忙しいけれど、充実してる日々を送れてるから
- ・生まれ育った場所で家族と一緒にだから
- ・健康であり、やりたいことができ行きたいところに行けるから
- ・本年度で17年間無奉給で小学校の菊づくりを六年生に教えて来ましたが、81才の今年、体力的に途中で倒れた時の迷惑を考え辞退して終わりましたが、先月、退任校長6名と都合がつかなかった校長2名が一同に会し、私に「感謝の御苦労さん」の会を宴を添えて花束を頂きました。
- ・仕事へのストレスは多少あるものの、健康上の問題はなく、旅行や趣味などで気分転換を図りながら生活ができているため
- ・定期通院は要するが、安定した生活が送れており、周囲の理解もある為生活しやすい
- ・概ね良いが 年齢には抗えず足腰の痛みで悩まされる日があるため

③「ふつう」と回答した人

- ・自治会との関わりが大変。一般的な仕事のサイクルではないため、掃除やらが仕事の中に入るので休みを取らなければならずキャリアに影響したり、睡眠時間の真ん中に入ったりすることで事故につながりかねない
- ・健康上の理由で最近退職しました。今は落ち着いてます
- ・普通に生活しているから
- ・6月に夫を亡くし、新盆が済むまで心がしずみがちですが、子どもや孫に支えられ、花の世話や手芸を少しずつやる気になれてます
- ・良くも悪くも無くごく普通です
- ・誰かと何気ない話も出来て、楽しく笑える時があるから

④「やや良くない」と回答した人

- ・義母の介護

⑤「良くない」と回答した人

- ・自分のリソースに対して、仕事も家庭も地域団体での活動量も、多すぎると感じるため
- ・うつ状態の為

問3 渋川市での暮らしで「幸せだな」「心地よいな」と感じるのはどんな時ですか。当てはまるものを2つまで選んでください。

- ①食事（5人・16.1%）
- ②睡眠（0人・0%）
- ③家族（9人・29%）
- ④人とのつながり（13人・41.9%）
- ⑤仕事（4人・12.9%）
- ⑥趣味（3人・9.7%）
- ⑦新たなスキルの獲得（0人・0%）
- ⑧社会貢献（5人・16.1%）
- ⑨心身の健康（2人・6.5%）
- ⑩自然環境（14人・45.2%）
- ⑪その他（2人・6.5%）

＜その他意見＞

- ・特段、渋川市だから幸福というものが無い。強いていうなら群馬県であること、吉岡町が近いこと
- ・住みやすさ

年齢別回答状況												単位:人	
〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	未回答	合計
20歳代(3)	2		1					1		2			6
30歳代(5)	1		1	3						1	1		7
40歳代(5)	1		1	2	1			1		2			8
50歳代(6)	1		2	2	2	1			1	2	1		12
60歳代(6)			1	4	1			1	1	4			12
70歳代(5)			3	2		1		1		3			10
80歳代(1)						1		1					2
合計(31)	5	0	9	13	4	3	0	5	2	14	2	0	

※最多は「⑩自然環境」、次いで「④人とのつながり」で、対象者の幸福感は「自然」と「人間関係」に影響を受けていることが分かる。続いて「③家族」や「①食事」、「⑧社会貢献」が挙がり、身近な生活要素や地域貢献も重視されている。一方、「②睡眠」や「⑦スキル獲得」は0で、日常行為よりも環境や関係性が「幸せだと感じること」、「心地よさ」に結びついていることが分かる

問4 上記を選んだ理由や具体的な事例があれば教えてください。

<簡易抜粋>

①「食事」と回答した人

- ・飲食店の数やラインナップも豊富でその日の気分で選ぶことができる。

③「家族」と回答した人

- ・家族のおかげで幸せです
- ・渋川が心地よく感じるのは慣れ親しんだ実家があるからである
- ・親の家や子ども夫婦の住まいが近く良好な距離が保てている
- ・家族が健康で適度な自然の中で暮らしている

④「人とのつながり」と回答した人

- ・両方の実家が市内のため、知り合いが多いため
- ・想いが伝えやすく伝わりやすい
- ・関わっている人はみんな優しい
- ・人との助け合いができる町
- ・市内のみならず前橋など近隣市町村とのボランティアやイベント活動が多くあり、つながりを楽しめる地域性がある
- ・温かい人が多い

⑤「仕事」と回答した人

- ・会社も近いので利便が良い
- ・特になし

⑥「趣味」と回答した人

- ・各公民館活動などが盛んで趣味の発表や興味有る催しに参画出来る環境にあります

⑧「社会貢献」と回答した人

- ・育成会、PTA、自治会、老人会と私は常に社会奉仕と共に地域の中で生かされてきました。周囲の人達に感謝しています
- ・社会貢献は、この市政モニター

⑨「心身の健康」と回答した人

- ・健康でないとやりたいことが自由にできないから

⑩「自然環境」と回答した人

- ・市街地から少し車で走れば森林や川、湖畔がありゆったりと過ごせる
- ・綺麗な景色がある
- ・住み慣れた土地だから
- ・山が見える環境が好き
- ・自然多く夜も静か
- ・空と山を眺めると心が落ち着くから
- ・心身が疲れても田園風景の中で暮らすことで癒やされるから
- ・高崎に住んでいた頃よりかは自然が多い環境の為
- ・災害にも遭わずいられるから
- ・家を出れば山や緑が目に入るのでとても良いです
- ・近いところに適度に楽しめる自然がある。山や自然園など。生活圏はごみごみとした感じがなく、暮らしやすい

問5 あなたの生きがいや人生の意義を教えてください。当てはまるものを2つまで選んでください。

- ①家族・人間関係（23人・74.2%）
- ②社会貢献・地域貢献（18人・58.1%）
- ③自己実現・自己成長（7人・22.6%）
- ④創造・表現（3人・9.7%）
- ⑤その他（1人・3.2%）

<その他意見>

- ・先祖が遺してくれた土地や山林を維持発展させる

年齢別回答状況							単位:人
〇は人数	①	②	③	④	⑤	未回答	合計
20歳代(3)	3	1	1				5
30歳代(5)	2	3	3	1			9
40歳代(5)	5	2					7
50歳代(6)	4	3			1		8
60歳代(6)	5	5	1				11
70歳代(5)	3	3	2	2			10
80歳代(1)	1	1					2
合計(31)	23	18	7	3	1	0	

※最多は「①家族・人間関係」で、全年代に共通して「生きがい」とされている。次いで「②社会・地域貢献」が多く、特に60～70代で見られる。「③自己実現・自己成長」、「④創造・表現」は少数にとどまり、個人の達成よりも、人間関係などのつながりや、地域への役立ちが、生きがいと捉えられている傾向がある。その他では「先祖から受け継いだ土地や山林の維持」といった、地域や家族の歴史に根ざした意見もあった

問6 上記を選んだ理由や具体的な事例があれば教えてください。

<簡易抜粋>

①「家族・人間関係」と回答した人

- ・身近な人から幸せにするべき
- ・家族の健康や幸せが一番の願いなので
- ・人の生きる意味は、自分の大切な人を幸せにすることだと思うから
- ・子どもや孫の成長など
- ・家族の幸せが大事です
- ・子どもたちの成長
- ・家族が少しでも心地よく生活できるようにサポートすることが大事だと考えるから
- ・古いかも知れませんが、家族、親族を大切にしています。お彼岸の墓参りは毎年、親族が集まります。今年の盆は18名で親交を深めた
- ・家族がいつも自分の事を気にしてくれてる
- ・家庭や人間関係が、うまくいかないとモヤモヤが多くなり生きがい薄れる。
- ・肉体的、精神的に辛い環境にさらされた際に真っ先に思い浮かべるのは家族との思い出であり、自己における重要度が高いのだと感じさせられた

②「社会貢献・地域貢献」と回答した人

- ・献血等の社会貢献がライフスタイルになっている
- ・自分は渋谷で会社経営をしていますが、どんな会社でも地域のサービスを受けたり、地域の人に勤めてもらったり、地域の人に仕事を頼んだり、地域に守られ地域に育まれている。だからこそこの地域で経営ができる。そのような構図であれば経営者が地域に貢献するのは当然のことだと思うから
- ・外国人との協業、共生に参加している
- ・ボランティアで奉仕するにも周囲の方々の協力があって成り立っていると考えます。日頃から近所や町内の方々との人間関係を大切にしています
- ・人の役に立っているということで、それが生きがいにつながると思う

③「自己実現・自己成長」と回答した人

- ・限られた環境の中で工夫しながら自分のやりたいことを努力し続けることで自分の成長を感じたいから

④「創造・表現」と回答した人

- ・それを仕事としているため

問7 渋川市の魅力を、市外の人に紹介するときに、どんなことを伝えますか
当てはまるものを2つまで選んでください。

- ①観光（17人・54.8%）
- ②自然（17人・54.8%）
- ③アクセス・立地（7人・22.6%）
- ④食・特産物（6人・19.4%）
- ⑤歴史・文化（1人・3.2%）
- ⑥住環境（6人・19.4%）
- ⑦人・コミュニティ（4人・12.9%）
- ⑧その他（0人・0%）

<その他意見>

- ・先祖が遺してくれた土地や山林を維持発展させる

年齢別回答状況										単位:人
〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	未回答	合計
20歳代(3)	2	1	1	1		1				6
30歳代(5)	3	1	1	1		1	2			9
40歳代(5)	4	2		2						8
50歳代(6)	2	6		2		1				11
60歳代(6)	3	4	3				2			12
70歳代(5)	2	2	2		1	3				10
80歳代(1)	1	1								2
合計(31)	17	17	7	6	1	6	4	0	0	

※最多は「①観光」と「②自然」で、次いで「③アクセス・立地」、「④食・特産物」、「⑥住環境」が中程度の支持を集めた。「⑤歴史・文化」や「⑦人・コミュニティ」は少数で、自然資源や観光要素がイメージされやすいことが示された。

問8 上記を選んだ理由や具体的な事例があれば教えてください。

<簡易抜粋>

①「観光」と回答した人

- ・ 渋川といったら伊香保温泉や、水沢うどんが浮かぶ為
- ・ 三原田歌舞伎や伊香保温泉など、あるから
- ・ 一番に伊香保温泉をおすすめしたい
- ・ おしゃれなお店が増えた伊香保は観光としてすすめたい
- ・ 自分の住む住所を「伊香保温泉の近く」で通用するから
- ・ 渋川で最も有名なものといえば伊香保温泉だという認識があるため

②「自然」と回答した人

- ・ 少し北の方に行けば、森があり、空も綺麗だし川も綺麗だから
- ・ 自然豊かで首都圏から近い
- ・ 畑や山で見る風景や空気が心地よい
- ・ 他に何があるのですか？
- ・ 東京都から近いので観光地としてアピールしたい
- ・ 山や川に囲まれた田舎であることも渋川の良い点であると考えから
- ・ 赤城、榛名と子持・小野子の山々の自然と災害の少ない地に感謝する
- ・ 自然が（緑）多く、景色を観るだけで癒される
- ・ 町があり、山、川があり田舎風景もあり全体的に調和が取れていること

③「アクセス・立地」と回答した人

- ・ 東京都から近いので観光地としてアピールしたい
- ・ 県内中央に位置し他都市へのアクセスが良い
- ・ 都心へのアクセスもし易い
- ・ 日本のヘソというだけあってどこに行くにも便利な場所であると思う

④「食・特産物」と回答した人

- ・ 水沢うどんがあるため
- ・ 食べ物も新鮮かつ採れたてが多く、お値段も安価で良いところです
- ・ 農産物など新鮮で美味しい物が産直で食べられる環境だから

⑥「住環境」と回答した人

- ・ 災害が比較的少ないところ
- ・ 金島ふれあいセンターに近いのでありがたい。金井は坂が多いので雨が降っても下に流れて行ってくれるので助かります
- ・ 比較的安価に住居を借りることができ、物価も安い
- ・ 実際に住んでいて住みやすい土地だと思うから

⑦「人・コミュニティ」と回答した人

- ・ 山車祭りなど地域を大切にしている人が多いこと
- ・ 住民が活性化のため、いろいろな活動をしていること

問9 こどもたちが、「自分で考えて行動し、まわりを良くしようとする気持ちと力」を育むために、どのような学びや体験が必要だと思いますか。

<簡易抜粋>

- ・自分の得意なことに気付き、それをいかせる仕事を知ること
- ・協調性
- ・地域のお祭りや、世代間交流
- ・情操教育ではなく、周りとの関係をよく保つことに実利があると教育すべきかなと思います。感情では将来の環境や収入によって容易に反転するため、資本主義が続くのであれば実利的な面を強調した教育も合わせて行った方が将来的にはいい方向に行くかなと
- ・弱い立場の人達を理解する体験学習
- ・同じ方向をみている学びなどあればよいと思います
- ・自由に意見を言える環境作り
- ・地域の団体に所属して、祭りや、イベントの運営側の体験をしてもらうこと
- ・子どもより、親が自分で考えて行動できるよう学ぶ
- ・子ども達同士で話し合い、考えながらというのが必要だけど、伊香保は人数が少なすぎ他の学校とまず統合する必要がある
- ・社会体験の機会を増やす
- ・渋川市を深く知ること
- ・先生がそのことを繰り返し指導してやる事
- ・自然の中での行動
- ・周りの人取り組み活動する
- ・人との関わり、コミュニケーション、挨拶
- ・地域活動、道路清掃、ごみ拾いキャンペーン、ものづくり等の幅広い年齢層の方と活動する機会に積極的参加することで地域貢献の考え方の幅も広がると思います
- ・市が主催で老人施設や福祉施設へのボランティア体や、学校の枠をはずれた交流会的な体験会
- ・修学旅行の班別行動や職場体験、地域を知る、現地現場体験、ボランティア活動（老若男女の奉仕活動）
- ・小学生には「昔遊び」で目を輝かせていた。また、田植え体験や「市の施設巡り」など、近年減少している本を読む習慣は時代は変化しても必要
- ・今年は暑い日が多いけどなるべく外で大人数で行動する行事が良いのかと思います
- ・戸外での異年齢による集団活動、大きなものを一つみんなで作る体験
- ・他者と交流し、それぞれの生活について知る事。同じ地域の中でホームステイのような体験を行う
- ・自己肯定感をしっかり持つてもらうことが基本になると考える。市内殆どの

小学校で「いのちの大切さ」を学ぶ講座を外部講師から受けているが、中学校でもやるといいのではないか

- ・ いじめの話やリアルな体験談、映画上映など、道德問題を取り上げた話を聞かせて欲しい
- ・ 校外実習や伝統工芸に、触れる事
- ・ 幼い時から、自由に遊べる環境があると良いと思う。提供や管理されるばかりではなく、大人の見守りの中での自由な遊びができると良いと思う。人と関わることで、自分も人も気持ちよくいられる為には、どうしたらよいか…を遊びながら知っていくと思う
- ・ 地域の人が積極的に外部講師などで教育に参加すること
- ・ 渋川市議会に子どもを呼び、見学、質問をさせる

問 10 問 9 で回答した内容に具体的な理由があれば教えてください。

＜簡易抜粋＞

- ・ 仕事が好きでやりがいを感じることが出来ればそのような気持ちと力がつくのではないかと考えた為
- ・ 自己の事しか考えられない子どもが増えた
- ・ おじいちゃんおばあちゃんが身近にいる子どもと、そうでない子どもだと違うように感じるため
- ・ 主体性や強調性は最終的に労働環境や交友でかなり左右されるため、アンコントロールラブルな不確定要素である感情面での教育に加えて、自分にどう利益があるのかという観点でも教育をしておけば、将来的な振れ幅が小さくなる
- ・ 車椅子体験学習や敬老者体験学習など体で感じる体感学習
- ・ ガールスカウトや世代間交流や趣味でつながれる場所など
- ・ 少人数クラスで教育者の目の届く環境。和気あいあいとした温かい学級作り
- ・ 社会の構図を学べるから、地域の人と関わられて地域愛がはぐくまれるから
- ・ 変な親が多い。人のせいにしたり、自分で考えられない大人が多い。自分の子どもさえよければいい考えの人がいる
- ・ 伊香保は 1 人だけの学年もあり、早急に他の学校と統合の必要があると思う
- ・ 農業や林業や観光など
- ・ 屋外キャンプなど
- ・ 子どもたちがゲームや SNS で限定的な思考に偏るのを懸念し、野外でのびのび活動できる環境を生かしたい。東京からの移住者も呼び込めるように情操教育は渋川で、と
- ・ 自分の知っている世界以外の場に居る方の存在や気持ちを知ること。自分とちがう他者の存在を認め受け入れることができるような体験が出来ると良い

- ・昔遊びも取り上げていただき、小学校 1 年生に紙ヒコーキ、独楽回し、お手玉、メンコ、ビー玉、ケン玉等を持ち込み、やって見せ、させて見て、日頃と違う学びに子ども達の眼が輝いていた
- ・菊花作りも「発根した時」「夏休中の成育」「花の咲いた時」の子どもへの感動は素晴らしい
- ・悩んで、マネして、工夫して、出来に喜びを覚えさせる良い思い出が感謝になると思う
- ・子どもの数が少ないので、外の学校との交流会などをしてはどうでしょうか
- ・年下の子を気遣う気持ちや年上の子に憧れる気持ちを持てる、相手の気持ちを気遣う行動ができる。みんなで協力する気持ちがもてる。みんなでやり遂げた達成感を得ることができる
- ・家庭によって環境がそれぞれ異なることを身をもって体験することによって、自身が当たり前と考えていたことがそうではないかもしれないことを知ることができる。それにより先入観や固定観念を持たずに行動したり発想したりすることに繋がる
- ・自己肯定感が低いと自分に自信が持てず、いろいろなことにチャレンジすることもできない。「自分が大切」と思えば他者や社会にも目が行き、社会を良くして行こうという気持ちが育まれるのではないか
- ・校外実習や伝統工芸を行い、普段触れない物や人と、関わる事でより強い力が、つくと思います
- ・子育ての現場にいる自分が日々感じている事で、「やってみたい」で子どもたちは、いろいろな事に挑戦している。出来る出来ないは二の次。まずはやってみたい…を大切にしたい。引っ込み思案の子も、じっと見ながら「やってみたい」を胸に秘めている。私達は急かさず待つ。自分で行動にうつせる時が来るのを見守る
- ・学校内だけではなく地域のいろいろな方とふれあうことで幅広い考えが生まれるのではないか
- ・能動的な人間性は社会活動においてとても大切な力の一つだと思うから
- ・子ども議会と題する同様の企画に参加する機会があり、浜川市政の問題についての質問の内容を考えたことは、まさに件のテーマにつながる体験だったと感じたから

問 11 ウェルビーイングを実現する社会にしていくために、学校・家庭・地域ではどんな教育や取組みが大切だと思いますか。

<簡易抜粋>

- ・まずは子どものいる家庭が金銭的な理由で、子どもに食事や教育など、充分にしてあげられないといったことをなくす
- ・子どもだけじゃない、大人もわがままで勝手すぎる、そこん所を考える
- ・子どもたちの【安全】を守れる取り組み。登下校や出かけ先などで、連れ去りや犯罪に巻き込まれないための知識を教えること
- ・大人たちが皆んなで子どもを育てる環境作り
- ・学校の先生の教育。学校の先生は、先生としてしか生きていないので、数カ月社会にでて、会社員として上司などの交流関係や協調性など学んだほうが良いと思う。子どもに教える立場が周りを知らなすぎる。教育改革とかで、大変だと思うけれど会社員として、先生以外を学んだら見方がかわると思う
- ・人と違う事をおかしいと思わない、色々な考えがあるなど否定しない事が大切だと思います。まずは居心地の良い学校、学級で安心な居場所を作る。
- ・まずは、祭りやイベントに参加者やボランティアとして関わるよう、推進すること
- ・学校は少人数のところは統合する。家庭地域などは子どもの意見を色々聞く場を設けたり、一緒に何かを取り組む
- ・中高一貫教育の充実
- ・地域の祭りなどの補助金又は助成金を手厚くする
- ・それぞれの理想や目標を明確にしめして取り組んでもらう事
- ・色々な人達との交流
- ・各組織がバラバラでなく総合的、横断的に動けるように行政から積極的に動きを期待します。行政組織が縦割りではどのような活動もうまくいかない
- ・一番小さな社会である家庭がどの子どもにとっても安定した安心した場所であるようにさせてやりたい
- ・精神的満足、安定な状態で幸せを実感出来る社会…。少子化、過疎化、一人親家庭、生活格差、外国人労働者、などなど未来は楽ではない。「汗を掻く暑い日に少しの風に幸福を感じる」皆んな三者（四者・・・行政）が骨を折る努力と協調が必要と思う
- ・3世代交流の何か行事などはどうでしょうか
- ・自分の行いが誰かのためになる活動、お年寄りに代わり地域の清掃作業やごみ出しをする。子どもたち同士で一日を振り返り、嬉しいことや親切にしてもらったことを伝え合う時間をつくる。親がスマートフォンやゲームをする時間を管理して会話をする
- ・各々の多様性を尊重する事や自身の価値観を他者に強要しない事、また、他者の利益を侵害しない事

- ・食育
- ・子どもたちの話をよく聞く機会を設けて欲しい。何かを相談しても、自分の体験や意見や考えなどに話を切り替えられてしまうことが多い。そうではなく、今何を考えてるか、どうしたいか、何を望んでいるか、とにかく子どもの話をよく聞き、把握して欲しい
- ・礼儀を身につける
- ・人の話、子どもたちの話をよく聞くことが大切だと思う
- ・地域の活動（祭りや清掃、公民館活動等）に学校の授業として参加し、地域との一体感を感じさせて、貢献していることを認識させる
- ・それぞれの年齢段階に合わせた、さらに充実した生涯学習
- ・年令を問わず、学びや好奇心の欲求を満たす環境の構築。図書の充実や博物館等の招致など

問 12 問 11 で回答した内容に具体的な理由があれば教えてください。

＜簡易抜粋＞

- ・気持ちや考えがあっても、子育て等で思うように動けず、金銭的に出来ないといったことが 1 番勿体無いと感じる為。子どもは自分で稼ぐことが出来ない為、親がお金が無いとウェルビーイングは難しい
- ・放課後の居場所問題は深刻だと思う。母親、父親が在宅していない間の子どもの時間が長い。母親が子育てを楽しめるくらい、手取りが増えたり物価高がなくなることを願います
- ・悪いとは言わないが、現在の自治会のような全体主義的圧力は、少なくとも私含む 30 代以下には好まれない。また招集に関しても現状の共働きかつ核家族では不利益を被る面が多すぎるため、この先続くようであれば人口流出は加速していくものと思う。意義としても最早高齢者の相互的な生存確認や体調の確認として行われており、参加するメリットとしては銃砲所持許可の審査の身元確認で有利になるくらいしか思いつかない。高齢者と離れて暮らす家族としては自治会があることによる安心感は確かに大きいですが、それでも今後数十年での多数の幸福を考えるなら段階的に廃止していくべきかと思う
- ・子どもが悪い行いをした時、しっかりと叱れる大人がいる社会
- ・子育て充実はありがたいですが、子どもが、育つ中必ず通る学校という場所で、先生の温度差がありすぎると思います
- ・学校であれば少人数クラスが良いと思う
- ・上毛かるたや、太鼓の練習、ボランティア活動を通して、地域の大人と関わる機会が生まれるから
- ・先生が、一般企業などで何年か研修する。先生がいろんな社会経験をした方がいい。行動心理学を学ぶ

- ・伊香保の学校などは一人しかいない学年もあり、協力し合ったり競争も出来ない
- ・地元の学力を高めて県南地区への通学を減らす
- ・金額が上がれば様々なイベントが開催できる
- ・それぞれに生きてる目的があるだろうから
- ・ゆとりがある行動
- ・分かりません
- ・幸福感は人により水準が異なるのでそれぞれの思いにかなう参加型の活動を考えたい。以前に県庁前広場で国際交流イベントが県内全団体が出展するのが2年くらい開催されたが、こうした交流が望ましい
- ・家庭と関わりをもつ団体同士が横のつながりをもって小さな異変も見逃さず問題を抱えた家庭であればサポートできるようになるといいです。
- ・高校の義務教育化。中学は人間形成の場であってほしい。本人の進学方向と能力適性を選択してあげる学校で良いのでは
- ・運動会のようなことを年2回位はどうか
- ・地域住民の孤立化を防ぐため。人の良いところを見ることを習慣化することができる。家族関係が希薄になることを防ぐため
- ・それぞれの立場や役割、考え方がある中でそれらを実現することは難しいと日々感じている為
- ・健康は食からだと思う
- ・学校において、働き方改革の影響なのか分かりませんが、全てが簡易的、短縮、事務的です。私たちが子どもの頃と同じ環境ではないのは理解できるし、仕方ない部分もありますが、人間関係が希薄に感じます。
- ・テーブルマナーやお寺で御経を聞いたり、普段行わない行事をやるのも良いと思います
- ・結果や結論から言ってしまうと、それで終わるけど。同じ結果でも、たどり着く道は人それぞれ。その人の道をもっと聞いてみると学びに繋がると思う。
- ・子どもたちは部活、塾、習い事等で繁忙度も高く、中学生にもなるとさらに助長され、地域の一員としての意識が低くなっている
- ・自分が何歳であっても自身の生涯を見通したプランニングはとても必要な事柄だと思うから
- ・ウェルビーイングという考え方が生涯学習の理念との共通点を感じたため、同じような手法を用いれば良いと思ったから

2. 第2期渋川市過疎地域持続的発展計画の策定について

令和3年4月に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」により、伊香保地区、小野上地区、赤城地区が「過疎地域」に指定されました。過疎地域では、人口の著しい減少や高齢化の進行により、地域の活力の低下や、地域社会の維持に様々な課題を抱えています。

市では今年度、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の向上を図るため、令和3年度に策定した「渋川市過疎地域持続的発展計画」の改定版である第2期計画を策定します。

この計画をより良いものとするため、さまざまな立場の方から多様なご意見をいただきたいと考えております。

計画の策定に関する下記のご質問について、ご意見をお聞かせください。

【参考】各地区の特色

(1) 伊香保地区

榛名東麓に広がる豊かな自然と温泉資源に恵まれ、首都圏の奥座敷「いで湯のまち」としての歴史を有する観光拠点となっています。

(2) 小野上地区

豊かな自然をいかした野菜、果樹類などの農産物の生産基盤と温泉施設、道の駅などの交流拠点機能を有した地区となっています。また、区域内には小野上駅と小野上温泉駅があります。

(3) 赤城地区

赤城インターチェンジなどによる交通利便性をいかしたイチゴ、ブルーベリーなどの観光農業や瀧沢石器時代遺跡、上三原田の歌舞伎舞台などの歴史資源、土地改良事業による農業生産基盤を有した地区となっています。また、区域内には敷島駅・津久田駅があります。

問 13 伊香保地区における市の取組について、どのように感じていますか。次の1～16の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取り組み	年代 ○は人数	回答状況					重要度					単位:人		
			満足度					重要度					5	4	3
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1			
			どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	無回答	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない	無回答		
1	移住・定住・地域間交流の促進	20歳代(3)		1	2				2		1				
		30歳代(5)	1	2	1		1	2	2		1				
		40歳代(5)			2	1	2	1	1	3					
		50歳代(6)			4	1	1	2	1	3					
		60歳代(6)			4	2		1	3	1		1			
		70歳代(5)			5			1	3	1					
		80歳代(1)				1				1					
		計	1	3	18	5	4	0	7	12	9	2	1	0	
2	中心となる人材の育成	20歳代(3)			3				1	1	1				
		30歳代(5)		2	1	1		1	4						
		40歳代(5)	1		2	1	1			4	1				
		50歳代(6)			4	1	1	2	2	2					
		60歳代(6)			6			1	3	2					
		70歳代(5)		2	3			2	2	1					
		80歳代(1)				1			1						
		計	1	4	19	4	2	1	6	13	10	2	0	0	
3	農林業の振興	20歳代(3)		1	2				1	1	1				
		30歳代(5)		2	1		1	2	1	1		1			
		40歳代(5)		1	3	1				4	1				
		50歳代(6)			2	2	1	2		4					
		60歳代(6)			6			1		4		1			
		70歳代(5)				5			2	3					
		80歳代(1)			1				1						
		計	0	4	15	8	2	2	5	5	17	2	2	0	
4	観光又はレクリエーションの振興	20歳代(3)	1	2				1	2						
		30歳代(5)	1	4				2	2	1					
		40歳代(5)	2	1	1		1	1	3	1					
		50歳代(6)	1	2	1	1	1	4	2						
		60歳代(6)	1	3	1	1		2	2	2					
		70歳代(5)	1	2	2			2	1	2					
		80歳代(1)	1					1							
		計	8	14	5	2	2	0	13	12	6	0	0	0	
5	商工業の振興	20歳代(3)		1	2				2		1				
		30歳代(5)	1	2	1		1	2	2		1				
		40歳代(5)	1	1	2		1	1	3	1					
		50歳代(6)		1	3	1	1	2	2	2					
		60歳代(6)		1	4				3	3					
		70歳代(5)			5			2		3					
		80歳代(1)			1			1							
		計	2	6	18	1	2	2	8	12	9	2	0	0	

6	デジタル技術の活用	20歳代(3)		2	1				1	1	1			
		30歳代(5)		4	1				2	2	1			
		40歳代(5)	1	2	1		1		1		3	1		
		50歳代(6)		1	3	1	1		2	2	2			
		60歳代(6)			5	1			1	2	3			
		70歳代(5)			5				1	2	2			
		80歳代(1)	1							1				
		計	2	9	16	2	2	0	8	10	12	1	0	0

7	交通施設(道路・橋梁等)の 充実	20歳代(3)		1	2				1	2				
		30歳代(5)		3		1	1		2	3				
		40歳代(5)		1	1	2	1		1	2	1	1		
		50歳代(6)		1	3	1	1		3		3			
		60歳代(6)		1	4	1			1	2	3			
		70歳代(5)			4	1			1	2	2			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	7	15	6	3	0	9	11	10	1	0	0

8	公共交通の充実	20歳代(3)		1	2				1	2				
		30歳代(5)	1	1		2	1		2	2	1			
		40歳代(5)			1	2	2		1	1	1	1		1
		50歳代(6)		1	3	1	1		3	1	2			
		60歳代(6)		2	3	1			1	4	1			
		70歳代(5)		1	3	1			1	1	2	1		
		80歳代(1)		1						1				
		計	1	7	12	7	4	0	9	12	7	2	0	1

9	生活環境(上下水道等)の 充実	20歳代(3)		1	2				1	1	1			
		30歳代(5)	1	1	2	1			2	2	1			
		40歳代(5)			3	2				2	2	1		
		50歳代(6)			4	1	1		3	1	2			
		60歳代(6)		2	4				1	1	4			
		70歳代(5)		2	3				2	3				
		80歳代(1)			1						1			
		計	1	6	19	4	1	0	9	10	11	1	0	0

10	子育て環境の充実	20歳代(3)			3				1		2			
		30歳代(5)	2			2	1		3	2				
		40歳代(5)			1	3	1		1		2	1	1	
		50歳代(6)			4	1	1		3	1	2			
		60歳代(6)			6				1	3	2			
		70歳代(5)		1	3	1					4	1		
		80歳代(1)			1						1			
		計	2	1	18	7	3	0	9	6	13	2	1	0

11	福祉の充実	20歳代(3)			3				1	1	1			
		30歳代(5)		1	3	1			2	2	1			
		40歳代(5)		1	2	2				1	3	1		
		50歳代(6)			4	1	1		3	1	2			
		60歳代(6)			6				2	2	2			
		70歳代(5)			4	1			1		4			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	2	23	5	1	0	9	7	14	1	0	0

12	医療の確保	20歳代(3)			2	1			1	2				
		30歳代(5)		2	2	1			2	2	1			
		40歳代(5)		2	3						3	2		
		50歳代(6)			3	2	1		3	1	2			
		60歳代(6)			4	2			2	1	3			
		70歳代(5)		1	3	1			1	1	2	1		
		80歳代(1)		1							1			
		計	0	6	17	7	1	0	9	7	12	3	0	0

13	教育の振興	20歳代(3)			2	1			1	1	1			
		30歳代(5)		1	4				2	3				
		40歳代(5)			2	3			1	2	2			
		50歳代(6)			4	1	1		3		3			
		60歳代(6)			5	1			1	3	2			
		70歳代(5)			3	1		1		3	2			
		80歳代(1)			1					1				
		計	0	1	21	7	1	1	8	13	10	0	0	0
14	集落の整備	20歳代(3)			3					2	1			
		30歳代(5)		1	3	1			2	3				
		40歳代(5)			1	3	1		1		2	1	1	
		50歳代(6)			4	1	1		3	3				
		60歳代(6)			5	1			1	2	2			1
		70歳代(5)			4	1				1	2	2		
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	1	21	7	2	0	7	11	8	3	1	1
15	地域文化の振興	20歳代(3)		3						3				
		30歳代(5)		2	3				3	1	1			
		40歳代(5)		1	2	2			1		3	1		
		50歳代(6)			4	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)			6					4	2			
		70歳代(5)		1	4					1	3	1		
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	7	20	3	1	0	6	10	13	2	0	0
16	再生可能エネルギーの 利用の推進	20歳代(3)		1	2					1	1	1		
		30歳代(5)		2	1	2			2	2		1		
		40歳代(5)			2	2	1			1	3	1		
		50歳代(6)			4	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)			6				1	1	4			
		70歳代(5)				4	1		1		2	2		
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	3	16	9	3	0	6	6	14	5	0	0

※全体の傾向として、伊香保地区では、全般的に「重要」、「どちらかと言えば重要」と回答した割合が高く、「①移住・定住・地域間交流の促進・②中心となる人材の育成・④観光又はレクリエーションの振興・⑤商工業の振興・⑦・⑧交通基盤の充実・⑨生活環境（上下水道等）の充実・⑬教育の振興」など、生活基盤や地域の持続性に直結する分野への関心が強い。

一方で、「満足度」は全体的に中間層（「どちらともいえない」「やや満足」）が多く、明確な満足層は一部にとどまっていることがわかる。この傾向から、施策の方向性は概ね理解・支持されているものの、実感としての成果が十分に伝わっていないことが示唆される

※年代別の傾向として、20～30代（若年層）は、「④観光・⑥デジタル活用・⑬教育の振興」などへの期待が強く、満足度もやや高めであった。デジタル活用といった新しい取り組みに前向きな姿勢が見られる。

40～60代（中堅層）は、仕事・生活両面に関わる「⑦⑧交通・⑩子育て環境・

⑫医療・⑬教育」に対する関心の高さが顕著であった。また、「①移住・定住・地域間交流の促進・⑭集落の整備」においては、満足度との乖離が大きい。
70代以上（高齢層）は、生活基盤の維持（⑦⑧交通、⑫医療）を重視する傾向があった。満足度は中程度だが、重要度の高さが際立ち、生活の安心・安全を優先的に求めているのではないかと分かる

※総合的な考察として、伊香保地区は、観光・文化など地域資源の強みを十分に認識している一方で、定住環境の維持・移動手段・医療福祉基盤の充実に課題を感じている。対象の多くは行政の取り組みを肯定的に捉えており、方向性は支持されているが、「実感できる効果」や「身近な利便性の向上」への要望が強い。今後は、観光と生活基盤整備を両立して進め、特に交通・医療・デジタル分野の改善を通じた、暮らしの持続性の向上が期待されていると考えられる

問 14 小野上地区における市の取組について、どのように感じていますか。次の1～16の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

		回答状況							単位:人						
項目	主な取り組み	年代 ()は人数	満足度					重要度							
			5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		
			満足	どちらか と言え ば満足	どちら とも言 えない	どちら かと言 え ば不 満	不 満	無 回 答	重要	どちら かと言 え ば重要	どちら とも言 えない	ど ちら か と 言 え ば 重 要 で な い	重 要 で な い	無 回 答	
1	移住・定住・地域間交流の 促進	20歳代(3)			3					3					
		30歳代(5)		1	3		1		1	2	1		1		
		40歳代(5)			3	1	1		1	1	2		1		
		50歳代(6)			3	2	1		2		4				
		60歳代(6)			2	4			1	3	2				
		70歳代(5)			1	4			1	1	3				
		80歳代(1)			1						1				
		計	0	1	16	11	3	0	6	10	13	0	2	0	
2	中心となる人材の育成	20歳代(3)			3					1	2				
		30歳代(5)		2	2		1		1	3	1				
		40歳代(5)			2	2	1				3	1	1		
		50歳代(6)			4	2			1	1	4				
		60歳代(6)			5		1		2	1	3				
		70歳代(5)			5				1	2	2				
		80歳代(1)			1						1				
		計	0	2	22	4	3	0	5	8	16	1	1	0	
3	農林業の振興	20歳代(3)		2	1					3					
		30歳代(5)		2	2		1			3	1		1		
		40歳代(5)			3	2			1		3	1			
		50歳代(6)			4	2			1		5				
		60歳代(6)			5	1			1	1	4				
		70歳代(5)			5				2	1	2				
		80歳代(1)		1						1					
		計	0	5	20	5	1	0	5	9	15	1	1	0	
4	観光又はレクリエーションの 振興	20歳代(3)			3				1	1	1				
		30歳代(5)		2	2		1			2	2		1		
		40歳代(5)		2	2	1				2	3				
		50歳代(6)			4	2			1		5				
		60歳代(6)			5	1			2	1	3				
		70歳代(5)		1	2	2			1	1	3				
		80歳代(1)		1							1				
		計	0	6	18	6	1	0	5	7	18	0	1	0	
5	商工業の振興	20歳代(3)		2	1					1	2				
		30歳代(5)	1	1	2		1			3	2				
		40歳代(5)			4	1				2	2	1			
		50歳代(6)			4	2			1		5				
		60歳代(6)			4	2				2	4				
		70歳代(5)			4	1			1	1	3				
		80歳代(1)			1						1				
		計	1	3	20	6	1	0	2	9	19	1	0	0	

6	デジタル技術の活用	20歳代(3)			2	1				1	2			
		30歳代(5)		2	2		1			3	1		1	
		40歳代(5)			3	2				1	3	1		
		50歳代(6)			4	2			1		5			
		60歳代(6)			5	1				1	5			
		70歳代(5)		1	3	1			1	1	3			
		80歳代(1)		1						1				
		計	0	4	19	7	1	0	2	8	19	1	1	0
7	交通施設(道路・橋梁等)の 充実	20歳代(3)		1	2					1	2			
		30歳代(5)		2	3				1	3	1			
		40歳代(5)		1	1	2	1		1	1	1	1	1	
		50歳代(6)			4	2			1	1	4			
		60歳代(6)		1	4	1				3	2	1		
		70歳代(5)			4			1		1	3			1
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	5	19	5	1	1	3	10	14	2	1	1
8	公共交通の充実	20歳代(3)		2	1					2	1			
		30歳代(5)		1	3		1		1	2	2			
		40歳代(5)			2	2	1		1	1	1	1	1	
		50歳代(6)			3	3			1	2	3			
		60歳代(6)			4	2			1	1	3	1		
		70歳代(5)		1	3	1				1	3	1		
		80歳代(1)		1						1				
		計	0	5	16	8	2	0	4	10	13	3	1	0
9	生活環境(上下水道等)の 充実	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)	1	2	2				2	2	1			
		40歳代(5)		3	2				1	1	2	1		
		50歳代(6)		4	2				1	1	4			
		60歳代(6)		1	5				1	2	3			
		70歳代(5)		1	4				1		3	1		
		80歳代(1)			1						1			
		計	1	11	19	0	0	0	7	8	14	2	0	0
10	子育て環境の充実	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)		2	2		1		3	1	1			
		40歳代(5)			2	2	1		1	1	1	1	1	
		50歳代(6)			4	2			1	2	3			
		60歳代(6)			6				1	2	3			
		70歳代(5)		1	4				1		4			
		80歳代(1)				1					1			
		計	0	3	21	5	2	0	8	8	13	1	1	0
11	福祉の充実	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)		1	4				2	1	2			
		40歳代(5)			2	3			1	1	1	2		
		50歳代(6)			4	2			1	2	3			
		60歳代(6)			5	1			1	2	3			
		70歳代(5)			5					1	3	1		
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	1	24	6	0	0	6	9	13	3	0	0
12	医療の確保	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)		2	3				2	2	1			
		40歳代(5)			2	3			1	1	1	2		
		50歳代(6)			3	3			1	2	3			
		60歳代(6)			3	2	1		2	1	3			
		70歳代(5)			4	1			1		3	1		
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	2	19	9	1	0	8	8	12	3	0	0

13	教育の振興	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)		2	3				2	2	1			
		40歳代(5)			3	2			1	1	2	1		
		50歳代(6)			4	2			1	2	3			
		60歳代(6)			5	1			1	2	3			
		70歳代(5)		1	4					1	4			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	3	23	5	0	0	6	10	14	1	0	0
14	集落の整備	20歳代(3)			2	1				1	2			
		30歳代(5)		1	4				3	1	1			
		40歳代(5)			2	3			1	1	2	1		
		50歳代(6)			4	2			1	1	4			
		60歳代(6)			5	1				2	4			
		70歳代(5)			4			1		1	3	1		
		80歳代(1)		1							1			
		計	0	2	21	7	0	1	5	7	17	2	0	0
15	地域文化の振興	20歳代(3)		1	2					1	2			
		30歳代(5)		1	4				1	2	1		1	
		40歳代(5)			3	2				2	2	1		
		50歳代(6)			4	2			1	1	4			
		60歳代(6)			5	1				3	3			
		70歳代(5)			5					2	3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	2	24	5	0	0	2	11	16	1	1	0
16	再生可能エネルギーの 利用の推進	20歳代(3)			3					1	1	1		
		30歳代(5)		1	3	1			1	2	1		1	
		40歳代(5)			3	2					4	1		
		50歳代(6)			4	2			1		5			
		60歳代(6)			5	1			1	2	2			1
		70歳代(5)			5				1		2	1		1
		80歳代(1)		1						1				
		計	0	2	23	6	0	0	4	6	15	3	1	2

※全体の傾向として、小野上地区では、「満足度」「重要度」ともに中位から高位の回答が多く、全体的に施策の方向性に対して肯定的な姿勢がみられる。一方で、「どちらともいえない」や「どちらかといえば不満」といった中間層の割合も高く、市の取組は理解されているが、生活実感としての成果がまだ十分に届いていないと考えられる。特に「①移住・定住・地域間交流の促進・⑦⑧交通・⑪福祉・⑫医療・⑬教育・⑭集落の整備」など基盤分野での重要度が高く、地域の持続性を確保する施策が優先課題と認識されている

※年代別の傾向として、20～30代（若年層）は、「④観光・⑨生活環境・⑩子育て環境・⑪福祉・⑫医療」への関心が高く、「地域の活性化」と「暮らしやすさ」を両立させたい意識が強いと考えられる。
40～60代（中堅層）は、「⑦⑧交通・⑨生活環境・⑪福祉・⑫医療」への関心が際立つ。生活基盤の不便さを感じる一方で、農業や地域活動への関与意欲も比較的高い

70 代以上（高齢層）は、「③農林業・⑦⑧公共交通・⑫医療」などを重要とし、デジタル化など新たな施策への関心は低めと考えられる。

※総合的な考察として、小野上地区では、「地域の資源を活かした産業・観光振興」と「生活基盤の充実」という2つの方向性が見られた。地域の誇りとして温泉・農産物・自然を重視しながらも、日常生活の利便性（医療・交通・福祉）に対する課題意識が根強い。

今後は、観光・農業などの産業振興と、医療・交通・デジタルなどの生活支援施策を一体的に進めること、特に高齢者や子育て世代双方にとって「暮らしやすさを実感できる地域」を目指すことが求められるのではないかと考えられる

問 15 赤城地区における市の取組について、どのように感じていますか。次の
1～16の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の
中から、1つずつ選んで○をつけてください。

		回答状況							単位:人					
項目	主な取り組み	年代 ()は人数	満足度					重要度						
			5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
			満足	どちらか と言え ば満足	どちら とも言 えない	どちら かと言 えれば不 満	不 満	無 回 答	重要	どちらか と言え ば重要	どちら とも言 えない	どちら かと言 えれば 重要で ない	重要で ない	無 回 答
1	移住・定住・地域間交流の 促進	20歳代(3)		1	2				2	1				
		30歳代(5)	1	1	2		1		1	1	2		1	
		40歳代(5)			5				1	1	3			
		50歳代(6)			4	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)			5	1			1	3	2			
		70歳代(5)			5				1	2	2			
		80歳代(1)			1						1			
		計	1	2	24	2	2	0	8	9	13	0	1	0
2	中心となる人材の育成	20歳代(3)			3					1	2			
		30歳代(5)		2	2		1		1	2	2			
		40歳代(5)			5						5			
		50歳代(6)		1	3	1	1		3	1	2			
		60歳代(6)		1	5				1	2	3			
		70歳代(5)		1	4				2		3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	5	23	1	2	0	7	6	18	0	0	0
3	農林業の振興	20歳代(3)		1	2					2	1			
		30歳代(5)		2	2		1			3	1		1	
		40歳代(5)		4	1					1	4			
		50歳代(6)		1	3	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)		1	5				1	2	3			
		70歳代(5)			5				2	2	1			
		80歳代(1)		1						1				
		計	0	10	18	1	2	0	5	12	13	0	1	0
4	観光又はレクリエーションの 振興	20歳代(3)			3					1	2			
		30歳代(5)	1	1	2		1		1	2	1		1	
		40歳代(5)		4	1					2	3			
		50歳代(6)		1	3	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)			5	1			1	2	3			
		70歳代(5)		1	4					2	3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	1	7	19	2	2	0	4	10	16	0	1	0
5	商工業の振興	20歳代(3)			2	1				2	1			
		30歳代(5)	1	1	2		1		1	2	2			
		40歳代(5)			4	1				2	2	1		
		50歳代(6)			4	1	1		2		4			
		60歳代(6)			5	1				2	4			
		70歳代(5)		1	4				2		3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	1	2	22	4	2	0	5	8	17	1	0	0

6	デジタル技術の活用	20歳代(3)			2	1					3			
		30歳代(5)		2	2		1		1	2	1	1		
		40歳代(5)			4	1				1	3	1		
		50歳代(6)			4	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)		1	5					2	4			
		70歳代(5)			4	1			1	2	2			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	3	22	4	2	0	4	8	17	2	0	0
7	交通施設(道路・橋梁等)の 充実	20歳代(3)		1	2					3				
		30歳代(5)		2	3				3	1	1			
		40歳代(5)			4	1			1	1	2	1		
		50歳代(6)		1	2	2	1		2	1	3			
		60歳代(6)		2	4				1	3	2			
		70歳代(5)			4	1			1		4			
		80歳代(1)		1						1				
		計	0	7	19	4	1	0	8	10	12	1	0	0
8	公共交通の充実	20歳代(3)			3					2	1			
		30歳代(5)		2	2	1			2	2	1			
		40歳代(5)			4	1			1	1	2	1		
		50歳代(6)		1	2	2	1		2	2	2			
		60歳代(6)		2	4				1	3	2			
		70歳代(5)			5				1	1	3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	5	21	4	1	0	7	11	12	1	0	0
9	生活環境(上下水道等)の 充実	20歳代(3)		2	1				1	2				
		30歳代(5)		3	2				1	3	1			
		40歳代(5)			4	1			1	1	2	1		
		50歳代(6)		1	3	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)		1	5				1	1	4			
		70歳代(5)		1	4					1	4			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	8	20	2	1	0	6	9	15	1	0	0
10	子育て環境の充実	20歳代(3)		1	2				2	1				
		30歳代(5)	1	1	2	1			3	1	1			
		40歳代(5)			3	2			1	1	2	1		
		50歳代(6)			4	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)		1	5				1	2	3			
		70歳代(5)			5				2	1	2			
		80歳代(1)			1					1				
		計	1	3	22	4	1	0	11	8	11	1	0	0
11	福祉の充実	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)	1	1	3				2	1	2			
		40歳代(5)			2	3			1	1	1	2		
		50歳代(6)			4	1	1		2	2	2			
		60歳代(6)			6				2	1	3			
		70歳代(5)			5				1	1	3			
		80歳代(1)			1					1				
		計	1	1	24	4	1	0	9	9	11	2	0	0
12	医療の確保	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)	1	2	2				3	1	1			
		40歳代(5)			3	2			1	1	2	1		
		50歳代(6)			3	2	1		3	1	2			
		60歳代(6)			4	2			2	1	3			
		70歳代(5)		1	3	1			2	1	1	1		
		80歳代(1)			1					1				
		計	1	3	19	7	1	0	12	8	9	2	0	0

13	教育の振興	20歳代(3)			3				1	2				
		30歳代(5)		2	2		1		2	2	1			
		40歳代(5)			3	2			1	1	2	1		
		50歳代(6)			4	1	1		3		3			
		60歳代(6)			5	1			1	2	3			
		70歳代(5)			5				1	1	3			
		80歳代(1)			1					1				
		計	0	2	23	4	2	0	9	9	12	1	0	0
14	集落の整備	20歳代(3)			3					2	1			
		30歳代(5)		3	2				3		1			1
		40歳代(5)			3	2			1	1	2	1		
		50歳代(6)			4	1	1		2	1	2			1
		60歳代(6)			5	1				2	4			
		70歳代(5)		1	3	1			1	1	2	1		
		80歳代(1)		1						1				
		計	0	5	20	5	1	0	7	8	12	2	0	2
15	地域文化の振興	20歳代(3)			3					2	1			
		30歳代(5)		2	2		1		1	2	1		1	
		40歳代(5)			3	2				1	3	1		
		50歳代(6)		1	3	1	1		2	1	3			
		60歳代(6)		2	3	1			1	2	3			
		70歳代(5)		1	4				2		3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	0	6	19	4	2	0	6	8	15	1	1	0
16	再生可能エネルギーの 利用の推進	20歳代(3)			3					1	1	1		
		30歳代(5)	1	1	2	1			1	2	1		1	
		40歳代(5)		1	4					1	4			
		50歳代(6)		4	1	1			2		4			
		60歳代(6)			5	1				2	4			
		70歳代(5)			5				2		3			
		80歳代(1)			1						1			
		計	1	6	21	3	0	0	5	6	18	1	1	0

※全体の傾向として、赤城地区では、「重要度」がほぼすべての項目で極めて高く、地域課題への関心の強さが際立っている。

一方、「満足度」は「どちらともいえない」「やや満足」に集中しており、取組の方向性は評価しつつも、成果の実感や効果の波及がまだ十分に届いていない様子がうかがえる。特に赤城地区は交通アクセスの良さと農業基盤を併せ持つ地域であるため、「生活基盤の整備」と「地域資源の活用」の両立を求める声が多いことが読み取れる

※年代別の傾向として、20～30代（若年層）は、「⑩子育て環境・⑫医療の確保」への関心が高く、地域の将来性に注目している層であると考えられる。デジタル技術への肯定的姿勢も見られる。

40～60代（中堅層）は、「③農林業・⑦⑧交通・⑩子育て・⑫医療」を重視し、地域基盤の維持・強化を求める意識が強い。特に50代は「不満寄り」の中間的評価が目立つ。

70 代以上（高齢層）は、「③農林業・⑦⑧交通・⑫医療」を重要と考える傾向が見られ、生活の安心・利便性を確保する施策への期待が高い。地域文化や再生可能エネルギー分野に対しても一定の理解が示されたが、身近な課題解決をより重視していると考えられる

※総合的な考察として、赤城地区は、交通利便性や農業といったものに比較的特化していると考えられ、その利点を十分に活かしきることが満足度を上昇させるポイントであることがわかる。

行政施策の肯定的な評価として、特に「③農林業・④観光」分野では満足度が高い声がある

問 16 過疎地域（伊香保地区、小野上地区、赤城地区）の活力を向上するために必要だと思う取組がありましたら記入してください。（可能であれば、デジタル技術を活用する視点でご記入ください）

<例>

- ・オンラインや VR^{※1}による移住体験ツアーの実施
- ・多言語に対応した観光地案内・コミュニケーション用スマホアプリの導入
- ・AI^{※2}や IoT^{※3}を活用したスマート農業の支援
- ・MaaS^{※4}の活用

※1 仮想現実とも呼ばれ、デジタル世界に入ったかのような体験ができる技術のことをいいます。

※2 コンピューターや機械が人間のように学習し、問題を解決し、決断を下す技術のことをいいます。

※3 家電製品・車・建物など、様々な「モノ」をインターネットと繋ぐ技術のことをいいます。

※4 複数の公共交通を最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括して行うサービスのことをいいます。

伊香保地区

<簡易抜粋>

- ・オンラインや VR による移住体験ツアーの実施
- ・MaaS の活用
- ・VR とかがやりたいなら横須賀みたいに VRChat でワールドを作ってコラボイベントをするのなんかはいいと思います。メタスカで検索すれば出てきます
- ・AI 活用は現段階だとできるのは観光案内くらいでしょうか。食わせるデータ量と更新性が担保できるなら案内 AI はあってもいいかもしれません
- ・IoT に関しては MaaS とほぼ同じことになりますが、旅館予約から観光案内、伊香保に来るまでや帰り道での観光のレコメンド、観光地で必要になる様々な予約ができたらいいかもしれません。ただこれらは観光向けなので、定住者の増加には寄与しないと思います。やはり定住者と人口増加に関しては、子どもを産んでもらって、それによる金銭的負担をなくすことや、むしろ特になるシステムを構築することが一番効果としてはあるかなと
- ・伊香保温泉という好立地条件のアピール
- ・道路整備や、車がない人でも足を運びやすく、デジタルチケットなどの配布
- ・もっと昭和レトロ感を出した方がいい。伊香保～水沢間は遊歩道が必要(歩く人が年々多くなってる。道路歩くのは危ない)。出来ればサイクリングできればもっと良い(道路か混んでて危ないとのことで自転車を借りても諦める人もいる)
- ・飲食店や旅館・ホテルなどの空き状況や休業日情報などをリアルタイムでわかるアプリなどの導入
- ・観光客をもっと連れて来て地域をもっと発展させてもらいたい
- ・スーパーが無い。高齢者が多い地域では買い物もできない
- ・観光案内 SNS にデジタルツアーをリアルでお店の方と対話できるよう AI ガイドを作っては？

	・多言語に対応した観光地案内 ・伊香保のイメージ、隣段…年寄りに推められない ・地産地消の農業の促進 ・坂道ばかりです。動く歩道があれば良い ・空屋の再利用（昔の温泉街（昭和の遊び）を復活（喫茶店）） ・朝陽から陽当りの良い特徴を生し自然エネルギー（太陽光）など ・空き家バンクや温泉地を活かしたバーチャル宿泊体験やおてつたびの実施 ・混雑状況が把握できるコンテンツ(駐車場や温泉施設、飲食店など) ・多言語に対応した観光地案内やコミュニケーション用のアプリ導入 ・有名な温泉があるが駐車場が狭い！ ・手話案内が見られるアプリ導入が良かった ・観光としては十分観光で栄えていますが、活力がなぜないのでしょうか？なぜ過疎地域なのでしょうか？人口減少率も高齢化率も高いから？ ・観光に関する視点では、MaaS なるものが利用できるならばしたほうがよいだろう。それを利用できることを SNS で周知することも重要か
小野上地区 ＜簡易抜粋＞	・AI や IoT を活用したスマート農業の支援 ・この地域に限らず、引っ越し後の文化的、人との関わりのなギャップがあることで都会からの移住者は出ていってしまうことが多いと感じます。それが自治会だったというのを数人の田舎移住者の友人から聞いているため、やはりここはなんとかしないときてくれた後に逃げられてしまいます ・デジタルで VR という話題が出ていますが、それなりに金銭的余裕と時間的余裕がなければ VR 機器をもてません。その辺り市政と認識のずれを感じるので、まずは都会の移住を考えている人にインタビューをして、なぜ田舎に来たいのかを情報収集した方がいいと思います ・学校などの送迎システムの導入 ・自然の景観を磨きをかけて見せられる工夫を考えてもらいたい ・住みやすい環境作り ・小野上温泉を全面的にアピールし伊香保温泉、草津温泉と包括的に、デジタルスタンプや買い物券等組み合わせ観光客やお客様の呼び込み。地域振興券を2回目以降の方に与えるなどリピーターを期待する仕掛け、伊香保温泉とコラボもありかと ・自然と農業、高速道路からのアクセス整備等で工業団地の誘致をする、デジタル農業を興す若い事業家に補助金を出すなど、積極的に群馬県でデジタル農業を成功に導く土台をつくりましょう ・オンラインや VR による移住体験ツアーの実施 ・過疎化の空屋対策 ・景勝を利用する（吾妻川の利用）（山並みの景観） ・陽当りの良い地域性を生かす、太陽光やハウス培 ・商業施設やスーパーの充実 ・自然豊かなので山村留学的な取り組みを可視化するなど ・人口減少を抑える政策を ・温泉周辺での宅地開発

	・駅周辺のアパート建設 ・若い人の好む BMX やスケボー場の設置 ・貸し農園 ・伊香保なら知名度が高いためデジタル技術による恩恵は大きいと思うが、半端な知名度の地区が技術を用いても効果の程度は低いと思われる
赤城地区 <簡易抜粋>	・多言語に対応した観光地案内・コミュニケーション用スマホアプリの導入 ・道の駅があった方が良い ・学校などの送迎システムの導入 ・吉岡町が何故発展 人口が増えるのかを研究しその教訓が活かさないか探ってもらいたいです ・オンラインや VR による移住体験ツアーの実施 ・地区が広い、関東ローム層の土は使い道一杯で農業にも期待出来る。昭和村に敗けない農業地域に育成してほしい ・敷島駅周辺の街化を支援すべし ・観光地の宣伝 ・医療機関の充実を、図る！ ・インターおりてからこれといってやることがない。アウトレット的なものを導入！ ・廃校を利用した取り組みを可視化するなど(夏のお化け屋敷とか) ・伊香保なら知名度が高いためデジタル技術による恩恵は大きいと思うが、半端な知名度の地区が技術を用いても効果の程度は低いと思われる